

学校の沿革

明治 6年 3月	高及び川西の児童を世尊寺に集め、読み書きの教授
明治 23年 4月	高小学校を高尋常小学校、川西小学校を川西尋常小学校と改称する
明治 31年 4月	川西尋常小学校廃止し、高尋常小学校に統合 高等科を設置する 校名を高尋常高等小学校に改称する
昭和 16年 4月	国民学校令施行 校名を高国民学校に改称する 初等科と高等科を設置する
昭和 29年 3月	庄原市制実施 庄原市立高小学校と校名を変更する
昭和 48年 8月	水泳プールを新設
平成 5年 3月	校舎・屋内運動場を改築及び高共同調理場を新築する
平成 11年 11月	高小学校教育研究会
平成 12年 11月	高小学校教育研究会
平成 14年 11月	以降、毎年、高小学校教育研究会を開催
平成 20年 4月	高南小学校と統合
平成 20年 10月	第 32 回県北造形教育研究大会開催
平成 21年 1月	備北教育事務所研究指定「ことばの教育」研究会開催
平成 22年 4月	庄原市研究推進校指定（～23年）
平成 22年 6月	太陽光発電設備設置
平成 22年 12月	水泳プール改修
平成 24年 4月	学力向上総合対策事業（庄原中学校区）